

## 1. 大会を開催するにあたって

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けて、大会を再開するに当たっての基準や、再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点についてまとめたものです。

なお、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることにご留意をお願いします。

- (1) 3密（密閉、密集、密接）の発生が原則想定されないこと。（人と人との間隔はできるだけ 2mを目安に）
- (2) 大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。
- (3) その他、必要に応じて、適切な感染防止対策（入場者の制限や誘導、手指の消毒設備、マスクの着用、室内の換気等）が講じられること。

以上のような条件が整わない場合は、大会の中止又は延期をしていただく必要があると考えます。また仮にこうした対策を行っていても、その時点の感染状況に応じて（緊急事態宣言や県内の感染拡大など）、大会の急な中止又は延期等の対応を高体連事務局からお願いすることがあります。

## 2 大会開催・実施時の感染防止策について

県高体連として大会参加者が安全・安心に参加できるよう、開催にあたり留意すべき点をまとめたものです。以下の内容を踏まえつつ、各競技大会の特性を勘案して、感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し、適切な場所に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか定期的に確認すること、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組むことが必要です。

### (1) 大会参加者への事前対応

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがありうることを周知する。

#### ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認）

ア 体調がよくない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

#### ② マスクを持参すること。（競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する）

#### ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

#### ④ 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。

#### ⑤ 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。

#### ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

#### ⑦ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### (3) 大会参加者への対応

#### 1) 体調の確認

主催者は、大会当日に、参加者から以下の事項を記載した書面を求めることが必要である。

① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する。

② 大会当日の体温。

③ 大会前 2 週間における以下の事項（(1) ①～⑦）の有無。

#### 2) マスク等の準備（屋外で十分な距離が確保できる場合は除く）

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認することが必要です。なお、競技中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクの着用を求める。

### 3) 大会参加前後の留意事項

大会に参加する個人や団体は、大会前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮することが求められます。

## 3 大会開催の基準

### (2) 開催方法 必要最低限の人数で実施

- ① 選手：エントリー選手以外は会場に入れない。ただし、個人種目で1名のみで参加している場合はその限りではない。
- ② 競技役員・大会補助員：試合に必要な最低限の人数とする。
- ③ 応援：感染拡大の状況を鑑み、当面の間、無観客又は入場制限を行うことを考える。

### (3) 競技会場及び競技上の留意事項(基本的な感染対策)

- ① 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。  
特に、会場出入り口にはアルコール消毒薬を設置し、トイレに石鹸等準備する。
- ② 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。
- ③ 競技における適切な環境の保持のため、会場内の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度、湿度管理に努める。
- ④ 人が集まる場所（待機場所）では社会的距離2メートルを保ち待機させる。
- ⑤ 常時解放できない競技は30分に一度一斉換気を行う。
- ⑥ 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑦ 握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないこと。応援は拍手のみで行う。

### (4) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、顧問、大会役員等会場に入るすべての者）検温を実施。

- ① 特に選手は引率者が責任をもって検温結果を確認すること。
- ② 引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を各ブロック理事長に報告する。

### (5) 開会式・閉会式について

開・閉会式は実施しない。

### (7) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

#### 1) 大会前

- ① 部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
- ② 団体競技においては、参加申込後の選手交代を認める。
- ③ 個人競技においては欠場とする。（補欠の繰り上げ出場は認める。）

#### 2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。（各学校で指示しておくこと。）
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③ 他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従うこと。その経過等については、ブロック理事長を通じて高体連に報告すること。県教育委員会と合議のうえ、その後の大会運営について中止、または延期をお願いすることがある。

### (8) 大会参加申込について

- ① 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は各学校で保管すること。
- ② 大会参加を強要することがないよう配慮すること。

日本卓球協会では、各地域での卓球練習、競技大会の再開を念頭に『新型コロナウイルス感染症対策』を作成しました。このガイドラインは、日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに国際卓球連盟（ITTF）のガイドラインに掲載されている競技特性を踏まえた注意事項等を加味して作成したものです。

## 2. 卓球競技大会開催時の感染防止策について（主催者）

- ③ 当面の間、競技種目はシングルスのみとすることを推奨する。
- ④ 当面の間、競技大会は無観客とすることを推奨する。
- ⑤ 大会前 2 週間以内で以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めることを事前に周知する（4.（1）雛形参照）。
  - ・ 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある
  - ・ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある
  - ・ 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある
  - ・ 嗅覚や味覚の異常がある
  - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者（上記の症状を有する者）がいる
  - ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある
- ⑥ 参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する（4.（1）雛形参照）。
  - ・ マスクを持参すること（参加受付時や試合待機時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
  - ・ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
  - ・ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
  - ・ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
  - ・ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
  - ・ 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)
  - ・ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること

### (2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱・咳・呼吸困難・倦怠感などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、サーモグラフィや非接触体温計などで発熱者を特定し入場を制限することも検討する）
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの密を避けるよう配慮すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等ができる限り避けるようにすること
- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること（4.（2）雛形参照）
  - ・ 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）
  - ※ 個人情報の取扱いに十分注意する
  - 大会エントリー時に連絡先が登録されていれば、当日の提出は氏名と体温、症状の有無のみで可

### (3) 卓球競技大会参加者への対応

#### 1) 体調の確認

主催者は、(2) ⑦に掲載されている事項を記載した書面の提出を求めること

#### 2) マスク等の準備

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること。なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

#### 3) 大会参加前後の留意事項

イベントの前後のミーティングや懇親会、写真撮影等においても、三つの密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

(4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

- ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい

(5) 卓球競技会場、試合進行上の特別処置

1) 換気

- ① 換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと

2) 卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒

- ① 卓球台は十分な間隔を開けて設置する（4m 以上）。
- ② 卓球台、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明していない。卓球台およびボールを消毒する場合には製造元のメーカーのホームページを参照するかメーカーに問い合わせる。

【参考】卓球台およびボールの消毒 ・ 70%アルコール：使用不適；卓球台、ボールの品質に悪影響を与えます。 ・ 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム 0.05%に希釈）：同上 ・ 次亜塩素酸水：効果が不明確であり、現時点では推奨致しません。 ・ 次亜塩素酸ナトリウム希釈液と間違わないようご注意ください。 ・ 台所用合成洗剤または住宅・家具用洗剤（界面活性剤を含む製品）を希釈して消毒に用いる場合は、卓球台、ボールにより影響が異なるため、各メーカーのホームページを参照するかメーカーにお問い合わせ下さい。 ・ 頻回の手洗いによる除菌、感染予防に努めて下さい。

3) 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等の消毒

次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等で各試合終了後に消毒する。

3. 卓球競技大会開催時の感染防止策について（参加者）

(1) 参加者が遵守すべき事項

- 1) 大会前 2 週間以内に以下の事項（上記 2. ⑤の項目）に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
- 2) マスクを持参すること  
卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること
- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 5) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと
- 6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 7) 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)
- 8) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること
- 9) 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

(2) 試合を行う際の留意点

- 1) 当面の間、チェンジエンドは行なわない
- 2) タオルの共用はしない
- 2) 飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない
- 3) 卓球台の上で手を拭いたりしない
- 4) シューズの裏を手で拭くことはしない
- 5) 握手などの身体を接触させる挨拶は行なわない